

住民説明会（町内会 第6回） 議事録

- 日 時 令和8年7月23日（木） 18：30～20：05
- 場 所 府中南公民館 1階ホール
- 対象町内会 青崎中第4、青崎中第5、青崎東、青崎東サンヒルズ、ジェイグランディア
府中向洋、柳ヶ丘第1、柳ヶ丘第2、柳ヶ丘第3、柳ヶ丘第4、柳ヶ丘第5
- 町出席者 寺尾町長、桑原副町長
- 事務局 谷口総務企画部長、藤永政策企画課長、西山政策企画課課長補佐、浅田主査
- 参加者数 48人
- 内 容
 1. 開会
 2. 町長あいさつ
 3. 出席者の紹介
 4. 本日の流れ
 5. 資料説明
 6. 質疑応答
 7. 町長あいさつ
 8. 事務連絡
 9. 閉会
- 配付資料 次第
説明資料
パンフレット
アンケート（参加者記入後、事務局が回収）

●概要

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. 出席者の紹介
4. 本日の流れ

説明会の概要について事務局から説明。

5. 資料説明

説明資料により、事務局から説明。

6. 質疑応答の要旨

(参加者)

今回の市への昇格がどうあるべきかということを私なりに色々研究し、住民の皆さんにも聞いてみたが、その中で一番多いのは、なぜ市になるのかがよく分からないということである。

私も考えたが、先ほど説明があったように府中町は市のレベルに近い状態になっており、現状、住民はほとんど満足している。だから、市になるのであれば、1歩も2歩も高いレベルの政策を展開しないと住民は満足しないと思う。それに対して、2年後に2億円、場合によっては3、4億円をかけて市になることにどれだけのメリットがあるのかが分からない。そのあたりをもっと具体的に掘り下げて、こんなに良くなる、これだけの施設ができる、こういう政策を展開して住民に幸せをもたらす、または、町内企業の今後の発展に寄与するといった事を具体的にPRできるものがないといけない。

私は、約30年間色々な企業の世話をしてきたが、府中町に来たいという企業は1件も無かった。逆に府中町から出たいという企業は2、3件あり、理由としては空き地がない、工場を建てるところがない、建てたら隣からうるさいと言われるといったことである。こういった条件で、府中町がこれから伸びるため、どのような企業をどのように誘致するか、真剣に考えていただきたい。そうしなければ、府中は駄目になってしまう。

今、広島県で一番伸びているのは東広島市である。先般、報道でマイクロンが1兆5,000億円の投資を5年間で行うといった話があった。これは府中町の50倍の予

算である。その理由は、若者が多いこと、人口が増えていることに加え、市長が国、県、マイクロンにも出向いて誘致を行い、土地のあっせんや道路の拡張などに必死に取り組んでいるからであり、その結果、工場を誘致することになった。そういうことを東広島市ではやっており、市になれば競争となるため、余程気を引き締めてかからないと太刀打ちできないのではないかと思います。

提案だが、優秀な人を4～6人集めて、市になるためのプロジェクトを作ってはどうか。府中町は広島市に囲まれており、場所の伸びしろがないので、全国で一番小さくて一番伸びている市を調べ、どういう企業を誘致して、どうやって今から生き延びていくかを考えてほしい。

あと10年すれば間違いなく日本の人口は大幅に減る。今は夕張市だけが財政再建団体になっているが、10年後には四方八方で出てくるのではないかと思います。それだけ今の人口減少は厳しいことをよく理解していただきたい。

今回、市になることについてのアンケートを実施すると説明があったが、これには私は大反対である。私の友人から、以前ある自治体で重要案件をアンケートで決めた結果、不正があるのではないかとということで大きく揉め、その自治体は半年間仕事にならなかったと聞いており、重要案件に対してアンケートを行うのは反対である。以前、広島市との合併問題で住民投票を実施しており、法的に決められた方法があるのだから、正々堂々とやるべきである。

住民投票で単独市制が多いのであればそれで、町のままで良いということになれば、もっとまちを良くして将来に備えて市の研究をやれば良いと思う。これだけ長い90年の歴史を持った府中町に汚点を残すようなことには絶対になってはならない。

最後に質問だが、まず今回の資料の中に、ブランド力というのが5箇所出てきた。ブランド力とは何なのか、府中町が市になった場合のブランド力について、分かりやすく説明していただきたい。

2点目は、そのブランド力を向上させて、どこにどういう企業を誘致するのか。何をどこに呼び込むのか、それによってどれだけのメリットを出すのか、どれだけの歳入、雇用人口を増やすのか、これを明示していただきたい。

この場で説明がつけば説明していただきたいが、説明がつかないのであれば、せっかく審議会があるので、審議会がよく練っていただきたい。また、12ページに市になるための発展計画があったが、これも今の府中町の実態に合わせて本当に可能なのか、よく検討していただきたい。

私は市になることについて、絶対に反対とは言わない。本当に皆が幸せになるような市を作るのであれば良いが、今のままで金を3億、4億円つぎ込んで何も良くならないのであればやらない方が良いと考える。現状で皆が満足している、そこをよく理解して進んでいただきたい。

(町長)

まず、なぜ市制の検討をするかという部分であるが、資料編にあるとおり、やはり人口減少が一番大きなポイントである。

推計では人口5万人を切っていくところ、総合計画において5万1,500人と、現状の人口を維持していきたいと考えている。自治体の財政力には人口が重要であり、人口が減れば町自体の活性が落ち、行政投資もできなくなる。そのため、まずは人口維持を目標としている。

そこで一番危機感を持っているのが今の人口減少である。冒頭のあいさつでも触れたが、令和4年から減少傾向にあり、令和4年から1,300人も減って、5万1,000人になっている。もう1つは出生率の減少である。これまで年間500人くらいの出生数であったが、去年は369人ということで、400人を切る状況になり、府中町でも少子化が進んできている。まずはこういった事に対して手を打っていかねばいけないと考えている。

このまま後退してはいけないということで、まちの魅力をアップして、人やモノを呼び込んでいく1つのやり方として、市制施行をシティプロモーションの一環としてぜひやっていきたいということである。町から市になることで大きく変わるものとして福祉事務所があるが、府中町では既に設置しており、市になったら変わることを具体的にお示しできないが、対外的な部分でアピールできると考えている。

町と市で何が違うかという点、市は都市であるということである。府中町は人が集まり、産業、商工業が発展したまちであることを、対外的、特に東京など全国にアピールして、人やモノなどと呼んでいきたいと考えている。そのアピールする方法の1つとして、ぜひ市制を使っていきたいと思っている。

先ほど、どこにどういう企業の進出があるのかという話があったが、府中町はまち全体に住宅街があり、工場があったところにもマンションが建って、人が住んでいる。そのため、府中町の売りは人が住むまちであると思っている。今後も人口を維持するために道路や下水道、公園など都市基盤や住環境を整備し、人が住むまちにしていきたいと考えている。

特に今一番力入れている部分は、向洋駅前の区画整理事業であり、現在は北側がほぼ完了し、南側を進めている段階である。区画整理事業ということで、町が直接建物を建てるということではなく、土地を整備して地権者へ返し、地権者が建物を建てて活用することになる。ご存じのように北側は色々な建物が建て替わっているが、特に医療系が多く進出し、福祉系のサービスが根付いてきたと思っている。そういった福祉や医療、教育など都市的サービスに力を入れていきたいと考えている。

今後は南側の区画整理が進むので、活性化についてマツダとも協議をしているが、やはり南側は店舗、商業系を呼び込んでいきたいと考えている。企業の工場は無理

としても、支店や事務所、また、特色のあるお菓子屋さんや飲食店などを呼び込めるよう考えていきたい。市制とは直接関係はないが、まちづくりとしては、そういった都市的なサービスを進めていきたいと考えている。

次に、住民投票の件については、よく指摘されており、そういう方法もあるが、調査研究をして色々なアンケートを実施し、住民代表や企業の方が参画する審議会を開催しながら方向性を出し、最終的に議会との協議を進めていきたいと考えている。

住民投票を以前実施したという話だが、市制と町制で制度が大きく変わったり税金が変わったりすることはない。基本的には名前が変わる、看板を変えるという話であり、あくまでも人口維持、まちの活性化のための手段の1つとして全国的にアピールし、宣伝していくということである。もし住民の皆さんが、そういうアピールはしなくても良い、町のままで良いということであれば、そういう選択でも良いと考える。

私が一番危惧するのは、制度が変わったり町が無くなったりするような話ではないのに、住民投票を実施することで、以前のように町を二分した対立になることである。町を活性化するための1つの方法として単独市制を提案しているが、皆さんの意見が町のままで良いということであれば、先ほど言った区画整理などについても町としてやっていけば良いと思う。ただ、対外的なアピールのためには、こういう方法が使えれば良いのではないかと考え、提案しているものである。

私の思いとしては、単独市制に移行することで、これを全国にアピールして色々な人やモノを呼び込むというプロモーションとして使っていきたいということである。住所変更など一部お願いするものもあるかもしれないが、住民の皆さんに直接的な部分で大きく変わることはないと思っており、ぜひこのまちの将来を発展させる意味で進めていきたいと考えている。

(参加者)

町長が言うことは分かるが、この2年も経たない期間で、どれだけの事がどの様になるのか、さっぱり見えない。私がプロジェクトの責任者をやった時には、現状調査を2年くらいかけてやった。何をやらなければならないかを2年くらいかけて調査し、これならいけるといところまでまとめて、3年目に取締役会にかけ、できるまでに4年かかった。それくらい時間がかかるものである。それを、町長がいきなりゴールを先に言って、現状調査を何もなしにスタートするようなプロジェクトは無い。この点が、町民の皆さんがものすごく不満を言っていることであると理解いただきたい。

ある社長に聞いたが、東京の方で名刺を出すと、必ず安芸郡府中町はどこにあるのか聞かれるとのことである。それで「広島駅まで2.5キロ、タクシーで10分もか

からない」ことを言うと、「すごく良いところにあるんですね」と言われるそうである。その社長が言うには、その会社が立派に育ちブランド力が出来てきたので、市にならなくても良い、市であろうと町であろうと関係ないとのことである。

先ほどの話ではブランド力の説明が全くない。ブランドは自分で作るものであり、市になったからといってブランドが生まれるものではない。

私の意見は、本当に立派な市になるのならやってほしいが、今まで言った状態がクリアできないのであれば駄目である。

(町長)

町と市のブランド力について一つ申し上げる。市になる要件としては法律で、人口が5万人以上いること、中心市街地を形成している戸数が全戸数の6割以上であり住宅が密集していること、商工業に従事する人が全人口の6割以上であることとなっている。合併特例などで市になった自治体はあるが、法律要件で言うと、この要件を満たしていなければ市とは言えない。

だから、市という名前が付くということは、商工業が栄えており、住宅地がある都市であるというブランド力になり、それを全国に発信できることになる。町といえば、どうしても中山間地というイメージが強く、先ほど言われていたように、安芸郡府中町ではどんなところなのかと言われるが、市であれば、都市としてある程度商工業が発達したところだというイメージが分かり、これが都市的イメージということになる。

その面で府中町の実態は既に都市であるが、看板が町のままになっているため、実態に合わせて看板を変えようというのが私の思いである。

(参加者)

先ほどから全国へアピールしていくと説明されているが、具体的に全国のどういった方にアピールしたいのか。そこでアピールして、将来的にどういうメリットが返ってくるのか。

イメージの話ばかりされていて、具体的にどういうことが住民たちにフィードバックされるかが全く分からない。

(副町長)

市制施行を契機としたシティプロモーション、広報活動をどのターゲットにどのようにやっていくか、それが結果として府中の未来にどのようにつながっていくかということだが、市制施行のみならず、これまでシティプロモーションという部分で府中町は少し遅れていた部分があり、一番大きいのは、やはり人を呼び込むため

の方策ということである。これまでは自然増で発展してきた府中町が社会減、自然減になっている状況で、今後はこれまで府中町が輩出してきた人材や、府中町出身者、あるいは今回の市制施行を契機として新たに府中町を知った方々をまとめて、府中町のファンをもっと増やしていく必要があると思う。それは、府中町ファンの方々にまずは知ってもらって関心を持ってもらい、そこから関心がさらに深まれば、訪れてみたいといった話にもなる。

府中町出身者が全国に毎年 500 人ずつ出ていっており、そういった方々を府中町に呼び戻すということ、近隣の広島市から呼び込むのではなく、全国にアピールすることで、全国から府中町に住んでみたいと思ってもらえるよう取り組むことがシティプロモーションだと考えている。

具体的には、U I J ターンの施策として、首都圏からの移住の支援金といった施策を打ち始めており、これを拡充していく必要があると思う。4 月、6 月に東京で開催された移住相談会にも町職員を派遣しており、非常に強い関心を持ってブースを訪れていただいた方も 15 組ほどおり、具体的に府中町に移住したいという方も数組いらっしやった。そういった機会をシティプロモーションの一環として増やしていきたい。また、広報活動について、今はウェブの時代であり、ターゲット層である広島方面に行きたい人に府中町をアピールできるような取組を進め、それにより社会増につながる取組につなげていきたい。

これらについて、町でも出来るのではないかという意見は当然あると思う。町でもできるが、人口が 5 万人いる町で市制の取組をしているといった P R が同時にできるという相乗効果や、今後も 5 万人を維持するという宣言にもなると考えている。

基本的には人を呼び込むというのが一番で、企業についても製造業は先ほどの話にあったように土地がないので難しいが、都市的サービスに資する企業、例えば情報産業など第 3 次産業を中心とした企業や、高付加価値を生むようなサービス産業を対象として踏み込んでいきたい。

(参加者)

14 ページに町から市になったところが 7 か所とあるが、これらはその後、人口は増えているのか。

(副町長)

先行自治体の視察を昨年度から行っているほか、議会でも特別委員会を設置して先行自治体の視察に行っており、それを含めて 8 つの自治体の実態を見てきた。

市制施行時点では当然人口 5 万人を超えているが、市制施行直後の人口は、8 つの自治体のうち 7 つで人口が増加したという状況となっている。最新の国勢調査の

速報値では、さらに人口が増加したのが3市、人口5万人以上を維持しているところが3市、5万人を下回ったところが2市ということで、全体では8分の6は市制施行後も経済や人口規模を維持することができており、うち3市は更に発展をしているという状況である。

そのため、我々としては人口維持の仕掛けの一つとして、市制施行は有力な手段ではないかと考えている。8つの自治体は状況や地理的要件など様々であり、一概には説明が難しいが、人口についてはそういった状態である。

(参加者)

町長のあいさつにもあったが、今日の新聞報道で、住みこちランキング1位が8年連続で府中町となっていた。これは今までの町政や、町民の皆さんが頑張ったおかげであり、良いところが沢山あるから1位なのだと思う。

そこに自信を持って今後の町政をどんどん進めていただき、そして住み良いまちにしていきたい。

(参加者)

資料の14ページでの質問だが、他の自治体が市に移行する中で、なぜ府中町だけこれだけ遅れたのか。資料を見ると、平成22年と27年に一気に移行しており、何かここに波があったのではないかなと思うが、それに乗れていないのはなぜか。

(町長)

資料5ページに府中町の歩みがあるが、府中町の人口が5万人を超えたのが平成2年である。これまで国勢調査の人口で5万人を超えた町は、府中町以外すべて市制へ移行している。

5万人を超えた当時私は府中町の職員であり、その時には特に議論はなかったが、平成12年に和多利町長が町長に就任された時点で単独での市制を標榜されて、地元説明などを実施した時期があった。

ただ、ちょうどその時期に、平成の大合併の動きが国、県から出てきたということがあり、市になるのであれば単独市制以外にも合併という選択肢もあるのではないかなという議論が起こった。その時に住民投票を実施しており、単独市制・町のまま・合併を選択する投票の結果、単独と合併がほぼ拮抗し、そのため、まず合併について議論しようということになった。その後、合併賛成と反対の候補者による町長選挙があり、合併に否定的な町長が再選されたことで、合併の議論は終わったということがある。

その後、単独市制については、県や国が合併を進めている状況の中でなかなか着手できなかったというのが実態である。それから 20 年経った今、私が単独市制について県と話をする中で、法律要件がクリアでき、住民の意向を踏まえた上での話なら県も相談に乗ってくれるという状況になったことで、やっと調査を進め始めたところである。町としては、色々な歴史がある中で、これまで取組が進められなかったということである。

(参加者)

住民説明会アンケートについて、「市になるのが良いと思う」と「町のままだが良いと思う」の 2 つしかないが、3 つ目として広島市との合併を入れていただきたい。

(町長)

今回の件は、あくまでも単独自治を進める上での町制か市制かということであり、合併になると府中町自体が無くなるという話である。合併については、府中町が合併したらどのように変わるのかということを広島市と協議した上でなければ、到底皆さんにお話しできるものではない。

現在、広島市は 200 万人都市圏ということで、広域連携による都市圏づくりを進めていこうとしている。府中町もその中に入っており、町として合併について住民に問いかけるものを持っていない。今はあくまでも単独自治体として、そのままで良いのか、市になった方が良いのかということアンケートで聞くということである。

(参加者)

当時の住民投票は合併が 49.9% で 1 番であり、単独市制は 23%、町のままだは 21% くらいであった。今はこの 21% について議論している状況である。まだ府中町には合併が良いという人はたくさんおり、都市の真ん中に府中町があることによって都市づくりが変わってくるのではないかと、広島市と一緒に都市づくりをした方が良いのではないかとといった意見もある。一方で、合併したくないという意見も現実として半分くらいあり、これを無視して進めると争いが起きるので、良いことはないと思う。

私は町長が主張するように、府中町のままでいるよりは、市の形をとって少しでも変化を求める方が今は良いと思っている。

合併が良いという人も変化を求めていると思う。今のままでは人口が減って落ち込むしかないなので、今よりましになるような努力をするということであれば、市制

も1つの方法だと思う。

それで、ずっと単独市のままで行くのかということではなく、今単独市になっても、またいつか広島市との合併というのはあり得ると思う。その時が来るかどうかは分からないが、今のままよりは市制施行をしておく方が、たとえ合併をするにしても良いのではないか。お互いに発展して、時期が来たら一緒になることもありうる。

合併を考えている人も決して悲観することはないと思う。今できることはアピール力を上げることであり、町のままでいるよりは、市になってアピール力を上げ、少しでも自分たちの住むところを良くすべきと思う。

このままでは何もないので、それよりは市になって、少し様子を見てはどうか。市になるということは1つの投資である。やってみてどうなのか考えても良いのではないか。やって駄目であれば元に戻れば良いし、良かったらそのままいけば良い。

府中町には文化施設が少なく、美術館、博物館、文化ホールが無い。文化施設を充実して、形の良い市にしていけば良いのではないかと思う。

それともう1つ提案だが、市になるのならば安芸府中市という声を多く聞くが、それよりは広島市の中にあるのだから広島府中市で良いのではないか。東京の人が聞いても、大阪の人が聞いても、広島府中市なら広島県が無くても分かる。非常に分かりやすく、アピールしやすいと思う。

(参加者)

資料16 ページで、市制施行の要件の中で「高等学校もしくはこれに準ずる学校または中等教育学校が3以上設けられていること」の項目が調査中になっている。高等学校は2つだと理解しているが、ここが調査中になっている理由は何か。

(副町長)

高等学校もしくはこれに準ずる学校または中等教育学校が3校というのは県条例で定められている。

先ほど人口が5万人を超えた時点で市制施行すれば良かったのではないかという話があったが、その時点では、これが1校しかなかった。県と協議する前の段階でここが難しいのではないかという判断もあり、市制の取組が進まなかったのではないかと考える。

現在、高等学校は町内に2校あり、もう1つをどのように解釈すれば良いかということについて、昨年度に市制施行の検討を始めた時から、県に何度も足を運んで膝詰めで協議をしているところである。これについては、色々な議論があり、町内にある専門学校を「準ずる学校」として解釈できるのではないかという意見や、今

の少子高齢化が進んだ時代に高等学校が3つ以上必要という条件自体がそぐわないため条例改正しても良いのではないかという意見など、色々な意見を担当レベルで協議していることから、調査中と記載している。

いずれ市制施行を実際に進めることになった場合、その結論を県と一緒に決めていかなければならないと考えている。

(参加者)

府中町の将来をどうするべきかという議論であり、広島市との合併、単独市制、町のまま、それから例えば海田町などとの合併など、色々な議論があるべきにもかかわらず、町からは単独市制の提案だけとなっている。

それに対して町長は、これはあくまでも提案であって決めるのは住民の皆さんであり、アンケートで決めるということであるが、意見の吸い上げ方ややり方が違うのではないかと思う。

第5次総合計画でやるのであれば、やり方がたくさんあると思うが、“こういったメリット・デメリットがあるから、単独市制移行が一番良い方法である”といった説明をすべきではないか。他の方法がなぜ駄目なのかという議論がないまま単独市制移行が出てきたために、住民としては何のことかと思ってしまう。

町のままで何も悪いことはないという意見もあるだろうし、合併など、色々な意見があると思う。そこを、“こういう議論があったが、それでも市制移行が良い”といった説明をすべきである。

ブランド力を高めるというのは立派なことだと思う。東京周辺にもベッドタウンで成り立っている市はたくさんある。そういうところを含めてブランド力を高めることを前面に出して説明するなど、どうしていくのかを強く出して説明すべきであり、また、そのための議論はどんどんすべきだと思う。

(町長)

令和8年3月に第5次総合計画を策定しており、「みんなの『暮らしたい』がかなうまち あきふちゅう」を将来像とした10年間の計画となっている。この計画において、将来の人口目標として5万1,500人の人口維持を図っていくこととしている。

その中で、町の単独自治のあり方を検討しようということが議論となり、人口5万人を超える府中町は市制という選択肢が取れるので、それにより対外的にアピールができるのではないかということになった。

先ほど言われたように、東京の周辺にたくさんの市があるが、そのような都市的なサービスを提供している自治体であるということを大きくアピールし、人やモノを呼んでいきたいということで考えている。

基本的には、合併などの議論ではなく、この町をこのまま良くしていくための方法、手段の1つとして単独市制があるということである。シティプロモーションという言い方をしたが、これだけ都市的なサービスがあり、県内で住みこちランキング8年連続第1位であるということを、日本全国にアピールしていくための1つの方法として、単独市制というのをぜひ使っていきたいという提案である。

全てがアンケートで決まるということではなく、学生や事業者へのアンケートなど色々なアンケートを取って、それを元に審議会で議論してもらうという手続きを踏んでいくこととしている。最終的には町議会の議決が必要であり、そういった手続きを踏むことで、町全体で議論して進めていこうと考えている。市制移行が既に決まっているとか、一方的に進めているということではないので、そこは誤解のないようにしていただきたい。

町とすれば、平成2年から人口が5万人を超えているので、手順を踏みながらやっていきたいということである。先ほど人口が減少傾向であるという話をしたが、将来的に人口が5万人を切ると市制移行の議論はできなくなる。今回が最後かどうかは分からないが、人口減少局面に入った中での1つの選択肢だと考えていただきたい。

7. 町長あいさつ

8. 事務連絡

本日寄せられた質問は、他の説明会等での質問とあわせて取りまとめ公開すること、町ホームページで質問の受付を行っていることを説明。 また、アンケート記入のお願いと、提出の方法について説明。

9. 閉会